

貞任祭 九五〇遠忌 施餓鬼法要奉行

八月二十七日（土）、栃木県佐野市・別格本山妙顯寺聖徒団 齋藤日軌団（長）に於いて、大導師・芝崎日顕猯下 妙顯寺四十五世・前貫首。副導師・野澤日謙猯下 妙顯寺四十七世・加歴）並びに、齋藤日軌猯下 四十九世）が揃い、岩手県山田町善慶寺聖徒団団長・三浦恵伸師 妙顯寺加歴四十八世）が願主となり、安倍貞任公・九五〇遠忌施餓鬼法要を厳修した。

併せて・桓武東征・前九年後三年合戦・園城寺上座僧三浦惠算法印・源頼朝公の奥州征伐・承久の乱・宝治合戦・南北争乱 護良親王・華蔵姫・三浦大納言時光）・東日本大震災等犠牲者の追善菩提を願った。

三浦師によれば、日本史上、公武並立しての戦乱は長きに亘り、殊に、前九年後三年合戦と源頼朝公の奥州征伐は、歴史資料の過多からも西高東低を決定づけたと言ひ、今秋九月十七日、安倍氏の頭領・貞任公が盛岡市厨川で没してから、九五〇年を迎える。

三浦師は善慶寺・龍王寺檀信徒有志と共に、長年この供養に取り組んで来た。しかし、肝心の征当年にこの度の東日本大震災で、法要は断念かと危ぶまれたが、是非奉行すべしと言う趣旨の支援があり、背中を押されての事と感謝している。

これは、戦禍に遭った多くの犠牲者の菩提を弔い、併せて、争い事よりも協調・共生、就中、上行所伝のお題目に異体同心する大事を学ぶ機会にした。一心からと言う。

芝崎猯下の門に入って四十五年を迎え、是非師範猯下に払を執って戴きた。五名の僧侶と、四十名の関係者が集っての盛大な法要となった。

通信員・三浦恵導）



衣の館は
綻びにけり

源義家

歳を経し
糸の乱れの
苦しさに

安倍貞任

